



越後の綿織物の話

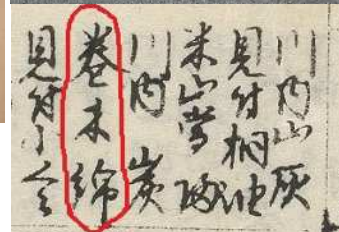
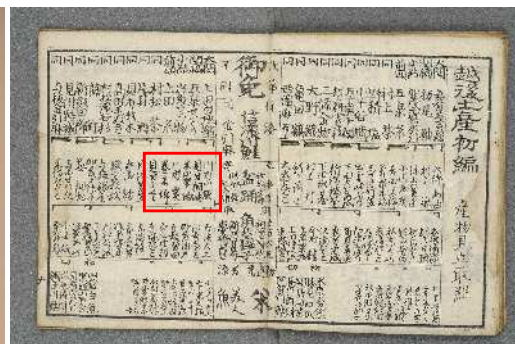
－ 幕末に巻地域の産物として知られていた「巻木綿」とは －



綿織物の高機
(新潟市北区郷土博物館所蔵)



縞帳 (新潟市南区郷土資料館所蔵)



越後土産より
「巻木綿」の記載

江戸時代後期には、巻地域を含む蒲原郡で木綿栽培が盛んに行われていました。また幕末に刊行された『越後土産』には、「巻木綿」とあり、木綿が巻地域の産物として知られていました。『越後土産』には、綿織物や綿織物の材料となる木綿を栽培し商品としていた産地として、巻、大野、吉田、曽根、新飯田の地名も挙げられていました。本講座では、江戸時代を中心とした越後の木綿栽培の状況から、越後の木綿の需要について学びます。

令和7年 9月 6日 (土)

時 間 午前10:00 ~ 11:30 (9:45 ~ 受付)

対 象 者 新潟市在住・在学・在勤の方

定 員 参加費無料・先着30名(要事前申込)

会 場 巻地区公民館 研修室 (新潟市西蒲区巻甲635)

申 込 8月6日(水)~29日(金)までにいずれかの方法で申込み

1. 電話 月曜日~金曜日 9:00~17:00 (※祝日を除く)
巻地区公民館 (0256-72-3329)

2. e-NIIGATA 24時間受付

右の二次元バーコードよりお申込みください

講 師

ちん れい 陳 玲 さん

新潟県立歴史博物館
専門研究員

